

visual	scece	shot	subtitle	object	audio	part	music/sound	lyric
シーン	ショット	字幕	被写体	narration	ナレーション	セリフ	音楽/音	歌詞
1	1			道の脇の草むらに女性1が座り、男性1が寝そべっている。女性1はモダンな服装をしている。藁葺きの家があり、その向こうには田園風景が広がっている。男性1は起き上がって時計を見ると、女性1の方に顔を向ける。男性1は伸びをした後立ち上がり、リュックを背負う。女性1が上着を男性1に手渡す		女性1: あんた、本当面白かったわね 男性1: さ、もうそろそろ帰ろうか 女性1: そうね。もう帰りましょうよ 男性1: よいしょと 女性1: はい上着	○	
2	1			家の前の路地に人々が集まっている。人々の服装は割烹着であったり作務着であったりとまちまち。皆、怪訝そうに辺りを見回している。頭に鉢巻を巻き、両手に野菜を持った男性2が音を木造の二階から白い煙が出ている		境界の人々:(ワイワイガヤガヤ) 男性2: あっ! 火事だ!		
	2					境界の人々:(ワイワイガヤガヤ) 男性の声: おいっ、水! 水! 境界の人々:(ワイワイガヤガヤ)		
	3			火の出ている木造アパートのような建物の玄関先に集まり、火を消そうとする人々。男性たちは塀をよじ登ったりしてアパートへ駆け込み、女性たちは水を汲みに走る		境界の人々:(ワイワイガヤガヤ)		
	4			建物の中から物を運び出す男性たち。家財道具や椅子などを肩に担いで走る		境界の人々:(ワイワイガヤガヤ)		
	5			男性たちが建物から荷物を運び出している。数人の男性は出てくる者を入れ替わりして再び建物の中へ入っていく		男性の声: はい、どいたどいた!		
	6			建物の中で奔走する男性達。煙が回っているのか、視界が明瞭		境界の人々:(ワイワイガヤガヤ)		
	7			女性2が警板を木槌で叩いている。警板には「警板 守れ われ等の 隣組 隣保会」と書かれている		境界の人々:(ワイワイガヤガヤ)	火事を知らせるために板をたたく音	
	8			頭に鉢巻を巻いた男性2が入り口で指示を出している。首に手ぬぐいの男性が肌を持ち出し、入れ替わりで帽子を被った男性が玄関の上に札が貼ってあり、その札には「火災報知口 通報担当者」と書かれている		境界の人々:(ワイワイガヤガヤ)	火事を知らせるために板をたたく音	
	9			一軒の玄関に駆け寄る割烹着の女性3。戸を開け叫ぶと、年配の女性4が出てくる。割烹着の女性3は火事の方向を指差すと、別方向へ走っていく		境界の人々:(ワイワイガヤガヤ) 女性3: 奥さん! 奥さん! 火事ですよ! 早く帰って下さい!		
	11			柱にプレートと札が貼られている。プレートには「電話 48-1431 赤坂し、札には「火災 通報担当者」と書かれている		境界の人々:(ワイワイガヤガヤ)		
	12			曲がり角を駆けていく割烹着の女性3		境界の人々:(ワイワイガヤガヤ)		
	13			警板を木槌で叩く女性2。警板には「警板 守れ われ等の 隣組 隣保会」と書かれている		境界の人々:(ワイワイガヤガヤ)	火事を知らせるために板をたたく音	
3	1			女性1が杖を突き、男性1に支えられながら歩いている。目前には木造の橋が。橋の勾配に辟易し気だるげに歩きながら、欄干にしな垂れかかる女性1		女性1: あたしもう、とつてもくたびれちゃったわ 男性1: さあ、ねえ、しっかりしっかり 女性1: だって、とつても疲れちゃったんですもの。ねえあなた。自動車で帰りましょうよ		
	4	1		喧噪の火事現場。家の前の広くなった場所では女性たちによるバケツリレーが行われている。その周りを忙しげに男性たちが駆		境界の人々:(ワイワイガヤガヤ)		
		2		バケツリレーを行う女性たち。後ろで一人の男性が指示を出して		境界の人々:(ワイワイガヤガヤ)		
	5	1		自動車に乗っている男性1、女性1。女性1は笑顔で談笑してい			クラクションの音	
	6	1		必死にバケツリレーを行う女性のアップ		境界の人々:(ワイワイガヤガヤ)		
		2		煙に巻かれながらも懸命にバケツリレーを行う女性たち		境界の人々:(ワイワイガヤガヤ)		
		3		バケツリレーの先頭で消火を試みる女性		境界の人々:(ワイワイガヤガヤ) 先頭の女性: よいしょ! よいしょ! よいしょ! よいしょ! 男性2: おう、もう水は……! おう、消えたんだよ		
	4			鉢巻をした男性2が、手すりから身を乗り出し安全を報せるが、バケツの水を被ってしまう		境界の人々:(ワイワイガヤガヤ) 男性2: おう、もう水は……! おう、消えたんだよ		
7	1			自動車に乗っている男性1、女性1。女性1が異常に気づき、窓から顔を覗かせる。続いて男性1も身を乗り出す。心配そうに顔を見合わせ、様子を伺う		女性1: あらっ? あなた! 火事よ火事 男性1: えっ? どこだい? あっ! うちの近所らしいね。あの、運転手君。運転手君。急いでくれ。火事だ! 運転手: は 男性1: 早く早く早く早く! 野次馬:(ワイワイガヤガヤ)	クラクションの音	
	2			野次馬でごったがえす路地の入り口に車が止まり、男性1、女性1が降車する。車のナンバーは31.503		野次馬:(ワイワイガヤガヤ) 男性1: 火事は、火事はどこなんです? どこが燃えてるんですか? 野次馬: □□□□□□の二階や 男性1: えっ? あの家が燃え……		
	3			男性1は野次馬に割り込もうとするも、逆に押し返されてしまう		野次馬:(ワイワイガヤガヤ) 男性1: 火事は、火事はどこなんです? どこが燃えてるんですか? 野次馬: □□□□□□の二階や 男性1: えっ? あの家が燃え……		

scene	shot	subtitle	object	narration	part	music/sound	lyric
シーン	ショット	字幕	被写体	ナレーション	セリフ	音楽／音	歌詞
	4		路地を走り抜ける男性1と女性1。開けた場所に来て、呆然と建物を見上げる。辺りには割烹着の女性たちがたむろしている		境界の人々:(ワイワイガヤガヤ) 男性の声:やあよかった。みんなご苦労さん。ご苦労さん、これで大丈夫		
	5		呆然と建物に近づく男性1に鉢巻をした男性2が駆け寄り、大きな身振り手振りで男性1に説明する		境界の人々:(ワイワイガヤガヤ) 男性2:おう、よかった！金子さん、危なかった。良く帰ってきた。こんなことになっちゃってね。とるもののもう火は消したからわ		
	6		男性1と女性1の荷物が映る		境界の人々:(ワイワイガヤガヤ) 男性2:荷物は全部大事ですよ		
	7		得意げに語る鉢巻の男性2。女性1は心配そうに男性1に寄り添っている帽子を被り眼鏡を掛けた男性3が画面右から登場。女性1に寄り添われている方の男性1はそろそろと帽子を脱ぐ		境界の人々:(ワイワイガヤガヤ) 男性2:何しろねえ、きな臭いでしょ。手前が□□□でとね、窓からワーツと煙が出てきやしたんですよ。フツとばかりにね、みんなでもってウワーツと消したんですよ		
	8		帽子の男性3は話の途中で男性1の方に手を乗せ軽く叩く。男性1はうな垂れて謝罪の言葉を述べる		男性3:あなた方のことは、金さんからよく聴きましたが、隣人の情けと協力とがどんなにありがたいもんじか、良く分っていただきたいのです 男性1:申訳ありませんでし		
	9		女が一步前へ出て、帽子の男性3と向き合う。深く頭を下げる女性1。画面左から頭にほっかむりをして、髭を生やした男性4が登場		女性1:あたしたちが至らないばかりに、とんだご迷惑をおかけしました。どうぞ許してください 男性4:あんたが金子さんか 男性1:はあ、そうです 男性4:いやあ、気を付けて下さらんと困るよ。わしはお陰でこの天気の日曜		
	10		髭の男性4が頭のほっかむりを外す。意気消沈した男性1に向かって手を差し伸べる。男性1と女性1は彼に対して頭を下げる。画面外から女性4の声がして、奥に立っていた鉢巻の男性2が反応する。鉢巻の男性2は、髭の男性4と男性1と女性1の間に割り込むとそのままそこを突っ切って歩いていく。鉢巻の男性1の視線の先には散らばった野菜が		男性4:いやあ、過ぎたをおうても仕方がない。あなた方もこれを機会に、我々と手を握らう。なあ 男性1:は、すいませんでした 女性4:おまえさん！何をしてるんだよ！ 男性2:何がよう 女性4:何じゃないよ！これをご覧よ！ 男性2:どれよ		
8	1		夜に女性2(?)が警板を木槌で叩いている		女性2:さあ、各々各々、早くして	集合のために板をたたき音	
	2		眼鏡を掛け髭を生やした男性3(?)が文机の前に座り、円の内側を向くようにして人々が座っている。出席しているのは中年の男女ばかりで、金子夫婦は画面右に座っている。紹介が終わると一同は頭を下げる。男性1が挨拶し、再び頭を下げると一同もそれに続く。画面左から男性とお婆さんが登場。介添え役の男性5は奥の方に座り、お婆さんは円の内側に座る。お婆さんは深くお辞儀。画面右の金子夫妻の隣に座る女性4が場所を空けて、お婆さんを促す。感謝しながら腰を浮かせるお婆さん		集会所の人々:(ワイワイガヤガヤ) 男性3:ええ、今回から金子さんご夫婦は常会にご出席なさるから、どうぞ皆さんよろしく願います。どうぞ 男性1:みなさん。今回はお騒がせしまして誠に申訳ありませんでした。今度から皆さんのお仲間に入れていただきましたから、今後とも、何分よろしく願ひ申し上げます 集会所の人々:(ワイワイガヤガヤ) 男性3:おお、良く来たねえ 男性5:遅くなってすいません。いやあ、お婆さんがね、皆さんに会いた行って言うもんですからね。つれて来ましたよ お婆さん:みなさん、こんばんは 男性3:ああ、良かったなあ。元気になって		
	3		玄関先。男性5(郵便局員)が住所を確認し、扉に紙を挟んでいく				

scene	shot	subtitle	object	narration	part	music/sound	lyric
シーン	ショット	字幕	被写体	ナレーション	セリフ	音楽/音	歌詞
	4		会の様子。司会の男性3(?)が語る。司会の男性の話し、出席者たちは相槌を打ちながら頷く。司会の男性3(?)が話を閉めると皆が一同に頷く。話が終わったところで襖が開き、少女1が登場。葉書を女性5に渡す		男性3:それから、講和奉公日(?)について申し上げますが、えー、近頃講和奉公日をただの休みのように考えて、いたずらにその日を過ごす人が多いと聞きますが、甚だ遺憾のことと存じます。そこで、当隣組はその実績を上げるために、一時間早起き、家庭内の清掃、町の清掃奉仕をすることにいたします。道路は町の顔と言いますからな 男性6:ううむ。分りました 男性3:それから、節電、節米はもちろん、あらゆる節約こそ、百二十八億口□□長期建設の土台だと思っております		
	5		オガタと呼ばれた女性5が葉書を読み、周りの人々もつられて葉書を読み込む。別の女性4がオガタの膝を叩いて事情を聞く。火事現場で鉢巻を巻いていた男性2が身を乗り出して葉書を読み込む。鉢巻の男性2は葉書を女性5の手から奪い取り、見せ付け		オガタ:まあ 女性:どうしたのお梅さん 男性2:お、おう。どっから来たんでえ。お、すげえや、おう		
	6		鉢巻の男性2が司会の男性3(?)に葉書を渡す。様子を伺う出席者たち。司会の男性3(?)が葉書を読み上げると、辺りは顔を見合わせて騒がしくなる。一同で万歳三唱		オガタ:あんた！ 男性2:うるせえよ、へい旦那 集会所の人々:(ワイワイガヤガヤ) 男性3:おお、みなさん。我等のオガタ伍長よりの拝領を得ました。只今、〇〇に到着、半年振りに見る大日本の山や川に感無量。近く、原隊に帰る。皆さんによろしく。近く原隊に帰る 集会所の人々:(ワイワイガヤガヤ) 集会所の人々:万歳、万歳		
	7		万歳をしている中で、オガタが涙を流している		集会所の人々:万歳、万歳		
9	1		路地で、男性3、男性4、男性5が立ち話をし、子どもたちが地面に座って遊んでいる。女性は座って話し込み、奥の方では鉢巻		界限の人々:(ワイワイガヤガヤ)		
	2		中年女性4と妙齢の女性5が玄関先で座り込み話している。中年女性4が話しかけると、妙齢の女性5は照れくさそうに笑う		女性4:サクさんどんなに日に焼けたか、楽しみだねえ		
	3		鉢巻の男性2が葉を積んでいる。手を止めて立ち話をしている男性3、男性4、男性5三人の間に割り込む。大げさな身振りで話す鉢巻の男性2		男性2:ねえ旦那。サクさんが帰ってくる頃にはねえ、隣組のこの総出を持って迎えにいきやしょうよ 男性4:サクさんはこの町の勇士ですからな 男性3:うう、それなら絶対です		
	4		男性たちが談笑しているところへお婆さんと女性3がやってくる。お婆さんの提案に、先生と呼ばれた男性5は快く承諾する		お婆さん:あの、先生。あの、あたしも行ってもよろしいでしょうか 男性5:ああ、良いとも 界限の人々:(ワイワイガヤガヤ)		
	5		鉢巻の男性2がお婆さんに話しかける。眼鏡の男性3が腕時計を確認し、皆に促す。男性3が片手を上げると皆準備を始める。眼鏡の男性3は歩いていって台の上に乗る		男性2:ねえお婆さん。そんな時はね、先頭でもって旗持ってくださいよ。我等が勇士、オガタサクゾウってやつをな 界限の人々:(ワイワイガヤガヤ) 男性3:おう、みんな。時間だ。さ、みんな、元気でおいでなう	○	手を取り合っ
	6	けふもまた いーお天気である	界限の住人たちが腕を大きく広げて体操する。老若男女が集っている。スクロールしていって、青空にはためく日章旗を映し出す			○	睦まじく のびる郷土の頼もしさ □□□□□□ この集い □□□を開いて 語ろうよ 膝を交えて □□□□□
10	1	手を取り合っ 常会の唄 完				○	